



〈5〉



原交差点には、六地藏を紹介

する案内看板があり、観光スポットになっている。
六地藏の前に立つと、柔らかな表情に心が落ち着く。三界萬霊塔とともに天竜川の方角を向き、今も穏やかなまなざしで激流を鎮めているかのようだ。
(杵木良)

一七一五(正徳五)年六月、伊那谷で「未の満水」と呼ばれる洪水があった。飯田市を流れる野底川から流出した大量の土砂が流天竜川をせき止め、一帯が湖のようになってたと記録されている。

高森町下市田には、満水の犠牲者を弔ったと伝えられる「三界萬霊塔」と、満水で流された後に再建された菩薩像の「六地藏」が隣り合っている。

三界とは、欲界(欲の世界)、色界(物質の世界)、無色界(精神だけの世界)の三つを指す。三界萬霊塔は、この世の生き物すべての霊を塔に宿らせているといわれる。

同町の国道153号・出砂

六地藏と三界萬霊塔 (高森町下市田)



激流鎮めるかのまなざし